

## 2011年(平成23年)の貧酸素水塊(まとめ)

2011年の貧酸素水塊の分布およびその規模を図1～図3に示します。

貧酸素水塊の初確認は5月12日で、これはほぼ例年並みでした。その後、6月初めまでは(5月31日を除く)、内湾中央部の比較的深い場所のみに分布していました。

6月中旬からは、ごく沿岸域でも貧酸素水塊が見られるようになりました。また、DOが1ml/L以下とほぼ無酸素な水塊も分布が広がりました。8月～9月中旬には、内湾北部の広い範囲が無酸素に近い状態になりました。同時期の8月29日に、貧酸素水塊が年間で最大の規模を示しました(図2)。年間の最大規模は、2000年以降、継続して高い水準で推移しています(図3)。

9月下旬からは、次第に貧酸素水塊が縮小しました。内湾南部では、10月下旬に同水塊が見られなくなりました。そして、11月下旬に貧酸素水塊の解消が全域で確認されました。全域での解消の時期はほぼ例年並みでした。

千葉県水質保全課によると、青潮は6回発生しました(5月31日～6月2日、7月21日～25日、8月23日～24日、8月30日～9月5日、9月27日～30日、10月21日～24日)。

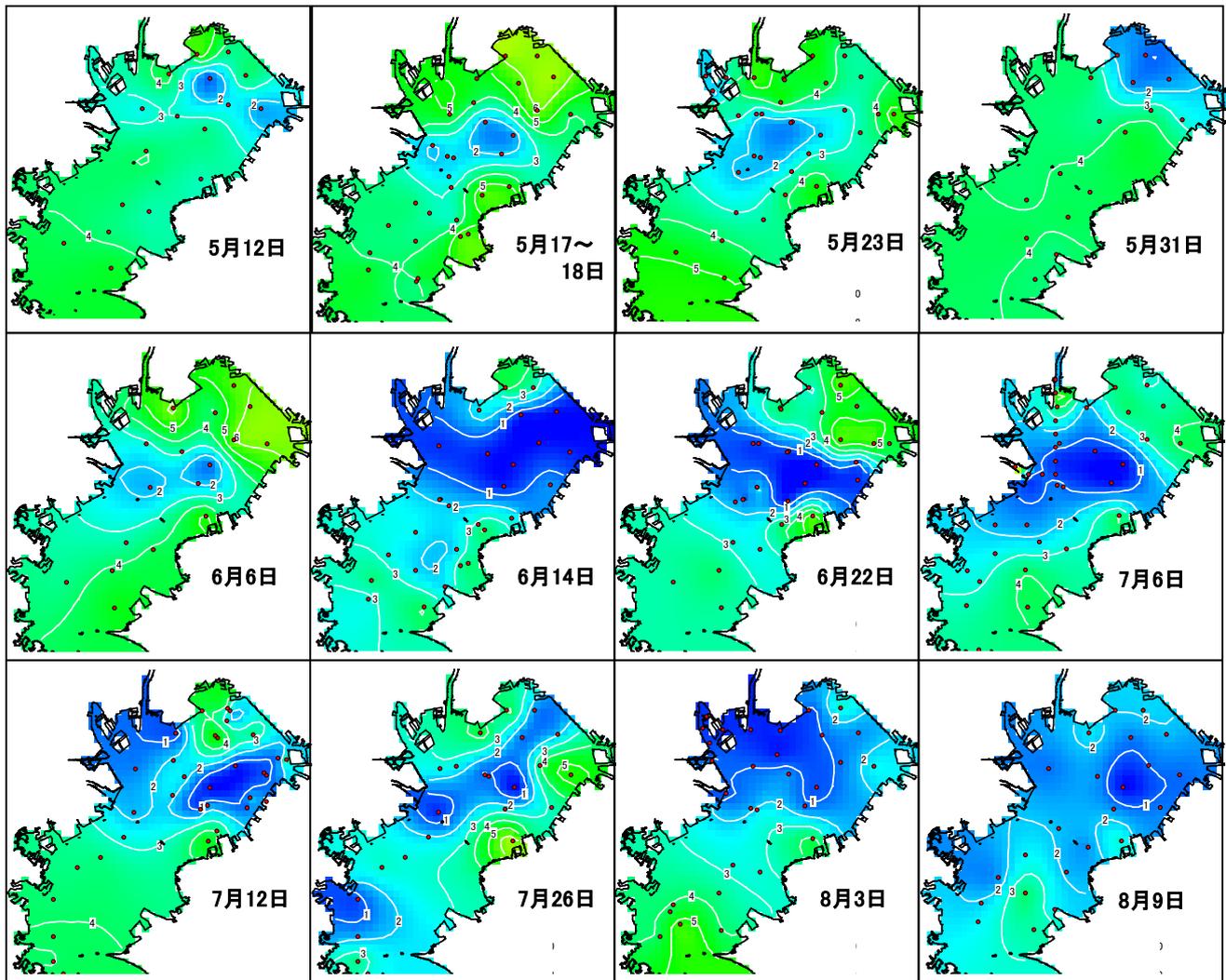


図1 貧酸素水塊の分布

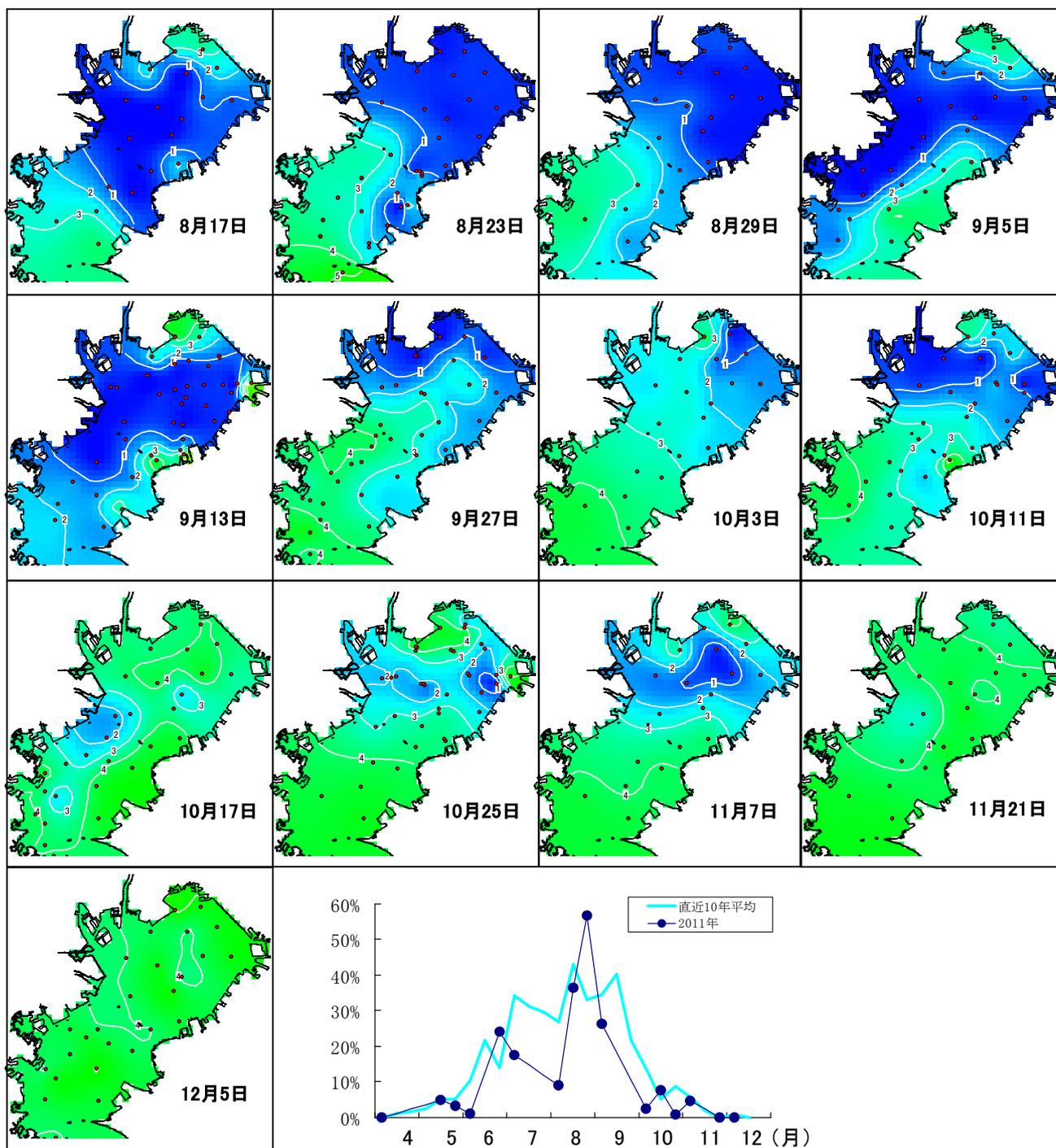


図2 貧酸素水塊の規模

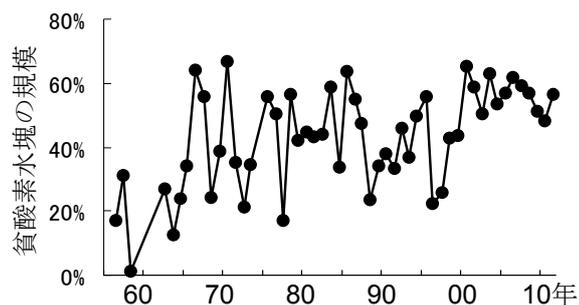
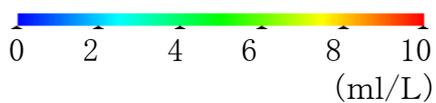


図3 年間最大規模の経年変化 (1955年～2011年)